

## 第3回推進委員会

第3回の推進委員会では、第2回委員会で議論した地域福祉に関する現状や問題点について、キーワードごとに整理、分類し、それらを解決するための「具体的な取組アイデア」について議論しました。



### プログラム

1. はじめに
2. 全体の流れの確認、第2回委員会の振り返り
3. 議論

“こんなことに取り組んでいかなければ！”の  
アイデアを考えよう！

- (1) オリエンテーション  
今日の目標、タイムスケジュール確認
  - (2) グループワーク  
ア. 3つのキーワードに分かれ、問題解決のための具体的な取組アイデアを考える  
イ. 2つのキーワードを加え取組を見つめ直す(追加)  
ウ. 全体での共有
4. 次回に向けて



### 開催概要

#### 日時

平成27年 **8月31日**(月) 18:30~20:45

#### 会場

廿日市市総合健康福祉センター 1階 多目的ホール

#### 出席者

19人

(委員:9人、市職員:6人、

ひろしまジン大学:4人) ※聴講者 3人

### はじめに

廿日市市福祉総務課長 藤井健二

第2期地域福祉計画の策定をきっかけとした、地域福祉の推進(=暮らしの基盤づくり)の議論も中盤に差し掛かってきました。本日は、具体的な取組アイデアを考える回次となっています。委員の皆さんが所属されているそれぞれの組織での立場や経験、活動における地域とのかかわりなどを踏まえて、存分に議論をしていただきたいと思います。

本日の資料として、「ステップ2のまとめ」をお配りしました。これまでの議論の内容から、共通のキーワードをいくつか整理し、皆さんの言葉を中心につなぎ合わせて文章



にしています。これからの議論によって、内容や一つひとつの言葉など、皆さんと一緒にブラッシュアップしていくものです。

どうぞよろしくお願いいたします。

## 議論:オリエンテーション

今回は、ステップ3「こんなことに取り組んでいかなければ！」のアイデアを考えよう！について議論します。

第2回委員会では「まちの地域福祉“ここが気になる”を出し合ってみよう」というテーマで議論し、日頃の活動を通じて気になっている「地域福祉の問題点」が多く出されました。

これらと、第3回、第4回の策定班会議(テーマは同じく「まちの地域福祉“ここが気になる”を出し合ってみよう»)で出された問題点を事務局で整理し、次の7つのキーワードに分類しました。

- ①人づくり・参加 ②組織(主体)の進化 ③情報共有 ④社会的孤立への対応  
⑤新しいつながり ⑥庁内、関係部署の連携 ⑦地区・地域の拠点性の発揮

このうち「⑥庁内、関係部署の連携」、「⑦地区・地域の拠点性の発揮」については、行政や社協の仕組みづくりとして、策定班会議の今後のステップの中で議論することとし、今回は①～⑤の5つのキーワードについてグループに分かれ、具体的な取組アイデアを出し合います。

## 議論:グループワーク

### 【グループワーク①】

①人づくり・参加、②組織(主体)の進化、③情報共有の、3つのキーワードごとにグループに分かれて議論しました。

委員の皆さんが所属している主体の活動や、これまでの議論と関連すると思われるグループに分かれ、まずはそれぞれのキーワードについて、これまでどのような問題点や課題が議論され、それらの背景は何であるのかをしっかりと確認、共有しました。

その後、それぞれの問題解決のために必要な「具体的な取組」について、すでにそれぞれの主体で実践されている取組や解決事例などを紹介したり、地域の特色を踏まえたりしながら、アイデアを出しあいました。

### 【グループワーク②】

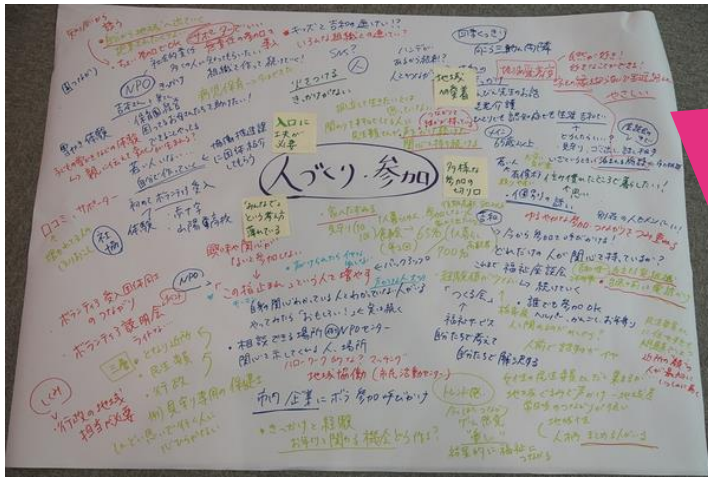
グループワーク①の議論におけるそれぞれの視点から、残りの2つのキーワード、④社会的孤立への対応、⑤新しいつながりについての視点を加え、これまでに議論したアイデアを見つめ直ししながら、さらにアイデアを追加していきました。

### 【共有タイム】

各グループでの議論の後には、それぞれのグループで出されたアイデアを全体に発表(共有)しました。



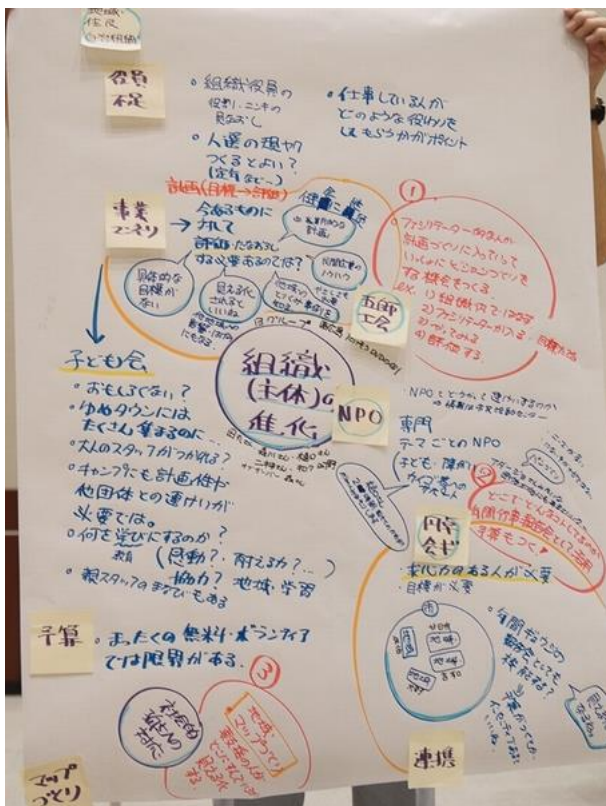




**人づくり・参加**

NPO法人など新たな人たちの参加による組織に所属している方の話から気付いたことは、「何とかしないとイケない」という活力を持った人たちが活動しており、「関心が強い」ということ。関心を持っている人たちが出てこない、新たな人づくりや参加は目に見えてきません。まずは「掘り起こし」が必要です。例えば、ひきこもりについて関心を持っている人たちや、解決したいと思っている人たちが少しずつでも出てくれば、こうした人たちへのアプローチも可能になってくると思います。

そして、ゆるやかな参加を積み上げていきたい。「会員」だと重荷になるので、もっと無責任に参加できる「サポーター」のようなものをつくってはどうか。



**組織(主体)の進化**

まず、どんな組織の形がよいのかを考えました。中・長期的な計画や具体的な目標、ビジョンがあるとよい、という話からファシリテーター的な人(リードする、引っ張る人)と一緒に、組織内でみんなが話をする機会や、活動を評価する機会が必要です。

地域のコミュニティやいろんな団体など、それぞれがどんなところで何をしているか分からないので、取組を報告する機会を設け、発表し合うことで予算が付くような形にすると積極的に参加するようになるのではないかと思います。

要支援者、地域で心配な方や気になる方を「見える化」できればいいと思います。個人情報の問題はありますが、実際に地域みんなで知り合えば、情報に対する制約はないのではないのでしょうか。



**情報共有**

「多様化」は、情報に関しても例外ではありません。届けたい情報が多様化しています。誰にどんな情報を届けたいのか、きちんと整理しておくことが必要。キーワードは「セグメント」です。

日々の相談や日頃の話の中から見えてくるものがあるということから、相談内容の統計を取って実態を把握する「マーケティング」や、情報をどうやって手に入れたのかということも定量化しておくことが必要だという話になりました。

悩みや問題を抱えている人は、とてもよく勉強されており、セミプロのような人たちがいるので、こうした人たちが活躍できるよう、必要な情報を提供するとともに、ボランティアな活動だけでなく、ソーシャルビジネスとして展開できるといいなと思います。

## ～聴講された方からひとこと～

●委員の皆さんの経験の中から話がされていることがとてもよかったと思います。●自分なりに整理しながら聞かせていただくことができました。特に、継続していくためには、きちんとした目標を持っていなければいけない、という話を聞いて、伝わってくるものがありました。●どの話も具体的であり、それがグループのメンバーによってうまく掛け算されて、これだけの模造紙(記録)ができたことにびっくりしました。●時間が短く、あっという間に過ぎたようでした。

## まとめ

地域福祉計画推進委員会 委員長 蛭江紀雄

今日の議論で共通していたのは「必要以上に拘束されたくない」ということ。無責任に個人の関心のあることに参加できるような、緩やかな参加や組織の在り様をキーにして考えてみたらよいのではないかと、皆さんの発表を聞きながら感じていました。自分自身が、実は何に本当は関心があるのか分からず、参加してはじめて自分の関心事に気付かされたり、切り開かれたりすることがあるのではないのでしょうか。

情報については、自分の関心があるときに入ってくるものだけが「情報」であって、自分の関心がないときに耳に入ってくるのは単なる「雑音」です。関心がある人に必要な情報をどう届けられる手法があるのか。これも多様性が求められますね。

セミプロやソーシャルビジネスの話、ぜひこれは次回もう少し議論が展開されるといいなと思います。

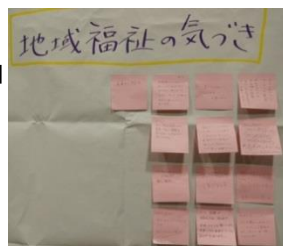
次回はテーマについての議論だけではなく、自分たちの日頃の仕事や活動を振り返ってみる、という視点も入れて議論ができると、もっと深みのあるものになっていくのではないかと思います。



## 第3回委員会に出席した委員のみなさんから

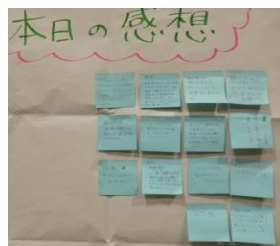
### 「地域福祉」についての気づき・発見

- ・ 人をつなげていくキーマンが重要。人のつながりはきっかけが必要。すぐにできるものではなく、日頃からすること。
- ・ マーケティングとマネジメント
- ・ 会員よりサポーター
- ・ サポーターというラフな参加の仕方でもいいという意見、なにか安心感が持てました。
- ・ 地域福祉…関心のある人が増える、関心のある人がつながるその結果の産物。
- ・ ビジネスとしてどう生かす?
- ・ 福祉をビジネスの視点から見るとということも大事なのかなと思いました。違う視点からの意見は、聞いていて「なるほど」と思えて、新鮮でした。
- ・ 幅広い情報を取り込むことの大切さに気付きました。



### 今日の感想

- ・ 自分の立場で「どんなことができるか」「どう関わっていけばいいか」考えながら参加することができ、とても自分のためになっています。
- ・ 話し合いが同じベクトルを向いているので、共感する部分が多い。
- ・ いろいろな方の話を聞けるというこの会議も、つながりを持つ第一歩だと思う。
- ・ 組織の進化、難しい課題だと思う。継続させるためには、活動のビジョン・目標が大事で、改めて「PDCA」サイクルの大切さを感じました。
- ・ グループのメンバーの方の発言が発言を呼び、どんどん発想が広がるので、とても楽しかったです。
- ・ また新しいやりたいことが見つかりました。



## 第4回推進委員会のお知らせ

**目標： アイデアを実現するための役割や、つながり方を考えよう！**

第4回委員会では、今回議論したそれぞれの取組について、どのような主体が強みを生かして役割を担っていくべきか、また推進していくためにどのような連携や協力が必要かについて検討していきます。